

英語科学習指導案（3年1組）

日時：令和元年11月5日（火）5校時（13:30～14:20）場所：

指導者：T1 T2 A L T

I 単元名

「A L Tに自分のあこがれの人物を紹介する記事を書こう」＜Lesson6 I Have a Dream＞

II 学習指導要領上の位置付け

【知識及び技能】

（英語の特徴や決まりに関する事項）

（1）エ 文、文構造及び文法事項（ウ） 文法事項

b 関係代名詞のうち、主格の **that**、**which**、**who**、目的格の **that**、**which** の制限的用法

i 現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法

【思考力、判断力、表現力等】

（情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項）

ア 日常的话题や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること

イ 日常的话题や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること

【言語活動】

ウ 読むこと

(エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。

カ 書くこと

(エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。

【言語の働き】

ア 言語の使用場面の例（ア）生徒の身近な暮らしに関わる場面 ・学校での学習や活動 など

イ 言語の働きの例（ウ）事実・情報を伝える ・説明する など

（エ）考えや意図を申し出る ・意見を言う ・賛成する ・反対する など

III 目標

ア 自分のあこがれの人物の偉業や歴史、言動などを紹介するために必要な情報や語彙、文法などの知識や、それらを実際に話したり書いたりする場面において活用できる技能を身に付けることができる。【知識、技能】

イ 自分のあこがれの人物について内容を整理し、相手にわかりやすい形でその人物の偉業や歴史、言動とともに自分の考え、気持ちなどをまとめ、伝えることができる。【思考、判断、表現等】

ウ 自分のあこがれの人物について読み手や書き手に配慮しながら、主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度で取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】

IV 指導計画 ※別紙参照

V 単位時間の展開①【「つかむ」過程】(1/11)

- 1 ねらい 既習事項を用いて自分のあこがれの人物についての紹介文を書く活動を通して、どのようなことを紹介したら良いかを考えるようにする。

2 展開

学習活動(分)	○:留意点	点線囲:評価	☆:振り返りの生徒の意識
<p>1 あいさつをする。(2分)</p> <p>○英語の授業を行う雰囲気作りをする。</p>			
<p>2 本単元および本時のめあてをつかむ。(8分)</p> <p>○教科書 P69 を見ながら教師と生徒の会話でのやりとりによる導入を行い、題材における最終目標および本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><Today's Goal> 今まで習ったことを使って試しの活動に取り組み、新しい単元での目標を立てよう。</p> </div>			
<p>3 A L T の書いたあこがれの人物の紹介文を読み、教師と生徒の会話でのやりとりを行う。(15分)</p> <p>○A L T の書いたあこがれの人物の紹介文の内容を確認する際は、人物の事実に関する内容と、書いた人の意見に関する内容の両方について会話ができるようにしていく。</p> <p>○A L T の書いたあこがれの人物の紹介文を書いたワークシートを「まとめる」過程で生徒に配布し、単元の最後に自分で紹介記事を書く際にモデルとして活用させ、英語に苦手意識を持つ生徒が参考にできるように支援する。</p>			
<p>4 今まで習ったことを使って自分のあこがれの人物について紹介する英文を書く。(15分)</p> <p>○4人1組のグループで書く活動に取り組みさせることで、既習事項を振り返ったり、書く内容のヒントを共有し合ったりしながら取り組ませるようにする。</p>			
<p>5 本単元の目標を立てる。(5分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>既習事項を用いて自分のあこがれの人物を英語で紹介する活動に積極的に取り組むことができる。</p> </div> <p>○Can-Do List と照らし合わせながら目標を設定させることで、既習事項を使ってある程度英文が書けた生徒は表現や内容、構成を工夫できるようにし、あまり書けなかった生徒は、単元の学習を通して書くことができるように支援していく。</p> <p>○英語表現の正確さだけでなく、内容や構成の工夫を目標に取り入れさせるようにすることで、相手意識を持って学習活動に取り組めるようにしていく。</p>			
<p>6 本時のふりかえりをする。(5分)</p> <p>○生徒の学習活動に取り組む姿勢を取り上げ賞賛することで次時以降の意欲につなげていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>☆「新しい単元では、自分のあこがれの人物について紹介するのだな。今まで習ったことでも書けるぞ。でも、もっと言えることが増やせるといいな。」</p> </div>			

VI 単位時間の展開②【「追究する」過程】(4/11) **本時**

1 ねらい 過去分詞の後置修飾を含む表現を繰り返し用いて表現し、使い方を理解できるようにする。

2 展開

学習活動(分)	○:留意点	点線囲:評価	☆:振り返りの生徒の意識
1 あいさつをする。(2分)			
○英語の授業を行う雰囲気作りをする。			
2 帯活動として Small Talk を行う。(10分)			
○内容は「自分の好きな歴史上の人物と理由」とし、言語材料を問わず、事実と自分の意見を交えながら会話をさせるようにする。			
○T1、T2、ALTがあらかじめ見本を示すことで、生徒の会話表現の参考になるようにする。			
○ペアを代え、有効な表現を共有しながら会話活動に取り組むことで、より事実や自分の意見を英語で適切に詳しく言えるように支援していく。			
3 本時のめあてをつかむ。(8分)			
<p><Today's Goal> 前時の授業で出てきた新しい表現を繰り返し用いて表現し、使い方を理解できるようにしよう。</p>			
○教科書P70の内容について教師と生徒の会話でのやりとりによる復習を行い、過去分詞の後置修飾の使用場面や働きを思い出すきっかけを持たせる。また、人物の事実に関する内容と、書いた人の意見に関する内容の両方について会話ができるようにしていく。			
4 過去分詞の後置修飾の使用場面と働きについて気付く活動に取り組む。(10分)			
○最初に実際に過去分詞の後置修飾を用いた英文を「聞く」活動を行う。その際、似たような英文を繰り返し使って導入することで、自然な気付きを促す。			
○「聞く」活動を通して理解した内容について生徒同士が「話す」活動を行うことで、音声による言語活動を活発に行わせ、内容理解を伴った気付きかどうかを確認する。			
5 過去分詞の後置修飾の用法について理解を深める活動に取り組む。(15分)			
○最初に過去分詞の後置修飾を用いた英文を含むまとまりのある英文を「読む」活動を行い、文字言語を通して理解を定着させる。			
○「読む」活動を通して理解した内容について生徒が自分の意見を「書く」活動を行うことで、過去分詞の後置修飾の使用場面と働きおよび用法についての理解を深める。			
<p>【知識、技能】 過去分詞の後置修飾の使用場面や働きに気付き、文法について理解して使うことができる。 (観察・ワークシート)</p>			
○過去分詞の後置修飾を適切に用いて自分の意見を書くことができている生徒の英文を全体で共有し、確実な知識の習得を促す。			
5 本時のふりかえりをする。(5分)			
○生徒の学習活動に取り組む姿勢を取り上げ賞賛することで次時以降の意欲につなげていく。			
<p>☆「今日は、何かをされた人やものを説明する言い方について学んだぞ。人物や絵を紹介する時に使えそうだな。」</p>			

Ⅶ 単位時間の展開③【「まとめる」過程】(11/11)

- 1 ねらい 友達の助言を生かしてよりよい表現や内容、構成を工夫し、自分のあこがれの人物の紹介記事を書けるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの生徒の意識
<p>1 あいさつをする。(2分)</p> <p>○英語の授業を行う雰囲気作りをする。</p>			
<p>2 帯活動として本時の学習で使用が予想される語彙の定着を図る活動を行う。(10分)</p> <p>○ビンゴ形式のワークシートを用いて、本時の学習で生徒の使用が予想される単語や表現の意味および綴りの確認を行い、定着を促す。</p>			
<p>3 本時のめあてをつかむ。(8分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><Today's Goal> 助言を生かして表現や内容、構成を工夫しながら自分のあこがれの人物の紹介文を書いてみよう。</p> </div> <p>○数名の生徒に前時の授業で考えた自分の紹介文を改善するポイントを発表してもらい、クラス全体で共有できるようにする。</p> <p>○「つかむ」過程で用いたALTの書いたあこがれの人物の紹介文をモデルとして活用させるように音読をして内容を確認するとともに、内容や構成面でどのような工夫がされているかを数名の生徒に発表してもらい、クラス全体で共有できるようにする。</p>			
<p>4 友達の助言を生かしてよりよい表現や内容、構成を工夫し、自分のあこがれの人物の紹介記事を書く活動に取り組む。(35分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><英文例> Do you know the man playing baseball? The person I respect is Kuroda Hiroki . Mr. Kuroda was a member of the Hiroshima Carp . He was a great pitcher and got many kinds of prizes . Many Carp fans cheered him very much . After that , he went to America to play in the MLB . In 2014 , there was heavy rain in Hiroshima and a lot of people lost their houses . Then Mr. Kuroda visited Hiroshima from America and helped them . He returned to the Carp after two months . “I think I can grow up more as a baseball player if I’m with Carp fans . It’s important for me to give dreams to children . ” These words impressed me . He retired from professional baseball , but he is still loved by many fans now .</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【思考、判断、表現等】 表現や内容、構成を工夫して自分のあこがれの人物について紹介する英文を書くことができる。 (観察、ノート)</p> </div> <p>○個人で書く活動に取り組むことで、自分なりによりよい表現や内容、構成の工夫ができるようにする。</p> <p>○なかなか書けずに進まない生徒に対しては、ALTの紹介記事の一部を自分のあこがれの人物に置き換えて書き進めていくよう支援する。</p>			
<p>5 本時のふりかえりをする。(5分)</p> <p>○生徒の学習活動に取り組む姿勢を取り上げ賞賛することで次時以降の意欲につなげていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☆「昨日もらった助言や、自分が読んで考えたことを生かして、あこがれの人物の紹介記事をより詳しく書けたな。」</p> </div>			